

| | | | | | | | |
|--|--|-----|-----|---------|---------|-------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 健康管理論(IA304) | | | 担当教員 | 宮原 恵子 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2単位 | 開講年次・時期 | 3年・前期 | 必修・選択 | 必修 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| わが国における人口構成や疾病構造等の変化に伴い、保健医療制度も新たな展開をみせている。その中で健康管理における管理栄養士の役割は重要性を増している。本講義では、これまでに公衆衛生学で学修した基礎知識を基に、分野別の健康管理の展開について学修することを目的とする。また、健康管理に必要な指標やデータの現状や用途についても理解する。 | | | | | | | ①②④⑩ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | 健康管理の流れについて説明できる。 健康管理に関連する指標やデータについて理解し、その展開方法について説明できる。 | | | | ・定期試験 | 50% | |
| 情報収集、分析力 | 分野別の健康管理の現状を、統計資料や法律、施策などから解釈・分析し、説明できる。 | | | | ・定期試験 | 20% | |
| コミュニケーション力 | | | | | | | |
| 協働・課題解決力 | 健康管理の現状や各指標から問題点を指摘できる。 | | | | ・レポート | 20% | |
| 多様性理解力 | 関連する法律や施策に基づいた分野別の健康管理について類別できる。 | | | | ・定期試験 | 10% | |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験(80%)：健康管理に関連する指標やデータについて説明できるか、健康管理の流れについて理解しているかを評価する。 ・レポート(20%)：毎回、講義の最後に、テーマに関して問題点や独自の改善内容を考察できているかを評価する。レポートは授業内でフィードバックを行う。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>健康管理について、健康の概念や現状、対策と、関連学問である疫学とその指標の知識を修得し、健康管理の方法や実際の理解につなげる。また、健康管理は生活習慣病、地域、高齢者・成人、母子、学校、職場と分野別に授業を行う。予習・復習の内容の指示、講義内容に関する質問の受付にはポートフォリオも利用する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：「健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康」田中平三編 南江堂（公衆衛生学と同様）</p> <p>参考書：「管理栄養士 栄養士必携」公益社団法人 日本栄養士会編 第一出版、「国民衛生の動向」一般社団法人厚生労働統計協会編・発行</p> <p>指定図書：「健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康」田中平三編 南江堂</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の理解を深めるために、事前に教科書に目を通し、授業終了後には必ず授業内容を復習して要点をまとめ、関連の事項についても調べること。 ・管理栄養士の業務として健康管理をとらえ、常に考察すること。 ・私語や携帯電話の使用は厳禁。 ・無断の途中退室は認めない。 | | | | | | | |

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|----|-----------|-------------------------|-----------------------------------|
| 1 | 健康づくり | 健康増進、健康づくり対策 | 予習:P118～124 復習:健康日本 21(第二次) |
| 2 | 健康管理 | 健康管理の定義、方法、健康教育、スクリーニング | 予習:配布資料の確認 復習:健康管理の方法 |
| 3 | 地域の健康管理① | 原則と考え方、保健所・市町村保健センターの役割 | 予習:P223～229 復習:保健所と保健センターの役割 |
| 4 | 地域の健康管理② | 地域における資源と連携、健康危機管理 | 予習:P229～230 復習:健康危機管理対策 |
| 5 | 母子の健康管理① | 原則と考え方、母子保健事業 | 予習:P233～238 復習:母子保健事業 |
| 6 | 母子の健康管理② | 健やか親子 21(第二次)、少子化対策 | 予習:P239～243 復習:健やか親子 21(第二次) |
| 7 | 成人の健康管理① | 原則と考え方、特定健康診査・特定保健指導 | 予習:P245～252 復習:特定健康診査 |
| 8 | 成人の健康管理② | 健康増進事業 | 予習:配布資料の確認 復習:健康増進事業 |
| 9 | 高齢者の健康管理① | 原則と考え方、介護保険制度 | 予習:P255～262 復習:介護保険制度 |
| 10 | 高齢者の健康管理② | 介護予防、地域包括ケアシステム | 予習:P256～258, 262～263 復習:介護予防事業 |
| 11 | 職場の健康管理① | 原則と考え方、労働安全衛生対策 | 予習:P265～271 復習:職業疾患 |
| 12 | 職場の健康管理② | 職業と健康障害 | 予習:P271～276 復習:労働安全衛生対策 |
| 13 | 学校の健康管理① | 原則と考え方、学校保健統計 | 予習:P279～286 復習:学校保健の現状 |
| 14 | 学校の健康管理② | 学校保健安全対策 | 予習:P286～290 復習:学校保健安全対策 |
| 15 | 国際保健 | 国際協力、世界保健機関 | 予習:P291～300 復習:国際協力 |
| 16 | 定期試験 | | |